

在宅における心臓 リハビリテーション

- 722-727 **1** 心臓リハビリテーションとは—コメディカルの役割と地域連携の課題
●堀 健太郎
- 728-736 **2** 地域における心臓病患者の問題点—急性期病院 退院支援看護師の立場から
●松本明子
- 738-743 **3** 地域における心臓病患者の問題点—地域側から
●大塚英樹
- 744-749 **4** 地域における心臓病の食事療法
●玉木大輔
- 750-754 **5** 地域における訪問心臓リハビリテーション—総論として
●諸富伸夫
- 755-760 **6** 地域における訪問心臓リハビリテーション—症例検討
●堀越一孝



心臓リハは、心臓病患者にとって極めて重要なアプローチです。これまで心臓リハは主に認定施設で施行されてきましたが、昨今の超高齢社会において、施設での心臓リハを享受できず在宅で療養を続けている心臓病患者は少なくありません。しかし地域における心臓病患者への扱いは不安感や疑問などが多く、十分な対応がなされているとは言えません。

本特集では、まず心臓リハでのコメディカルの役割を解説します。続いて病院側（地域に送る側）と在宅（地域で受ける側）、それぞれからみた心臓病患者にまつわる現状と課題を共有したうえで、訪問心臓リハの実践について紹介します。読者のみなさまの地域にいる在宅心臓病患者の生活が少しでも明るくなれば幸いです。

企画担当 ● 諸富伸夫（昭和大学藤が丘病院、医師）